

2012年12月10日

東急不動産株式会社

ビルの解体工事では国内初 環境省のカーボン・オフセット認証を取得

～東急不動産は銀座から、被災地復興支援と地球温暖化対策に同時に取り組めます～

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:金指 潔)はこのたび、銀座数寄屋橋交差点に位置する銀座TSビル(旧銀座東芝ビル)の建替えにともない、解体工事により発生するCO₂排出量のうち、同ビルにて期間限定で展開していた震災復興支援のための施設『東日本復興応援プラザ』の面積に相当する排出量(58トン)を、環境省が認証する岩手県釜石市の被災地産J-VER(※)クレジットでオフセットいたしました。(全体スキームは図1参照)

当社はビル解体工事としては国内で初めて、環境省の「オフセット・クレジット(J-VER)制度を活用した復興支援に係る事業者支援事業」に採択されました。当事業の趣旨に基づき、環境省によるカーボン・オフセット認証を取得し、地球温暖化防止などの環境保全に寄与するとともに、オフセットするためのクレジットに、岩手県の被災地産J-VERを用いることで被災地の復興を支援しています。

※J-VER…環境省で創設した、国内排出削減や森林整備などのプロジェクトにより実現された温室効果ガス排出削減・吸収量をオフセット・クレジット(J-VER)として認証する制度。

(図1)全体スキーム



東急不動産では、震災復興支援プロジェクトとして『日本に笑顔を』を合言葉に、「東急不動産グループとしてできること」を検討して全力を挙げて支援活動に取り組んできました。その活動の一環として、銀座TSビルでは2011年7月から段階的に、被災地の商工会議所等に、1・2階のスペースを『東日本復興応援プラザ』として無償でお貸しし、被災地の物産の販売、写真等の展示や映像の放映、チャリティイベントの開催に活用していただきました。

この度の銀座TSビルの建替えにともない、『東日本復興応援プラザ』が終了してもなお、人々の震災の記憶を風化させることのないよう、震災復興支援への活動を継続していくという思いと、地球温暖化対策という社会的課題へ積極的に取り組んでいくという思いの2つの面から、本取り組みを実施しました。さらに、取り組みにあたっては、環境省のカーボン・オフセット認証を取得することでその適正性について一定の客観性を確保するように配慮しました。（認証マークは図2参照）

（図2）認証マーク



今後も、東急不動産グループは、東日本大震災の復興支援や地球環境の保全といった、社会的課題の解決に向けた様々な活動に積極的に取り組んでまいります。